

第二 衣まけもの  
二人の子をさかす道の四つかどつてあるたそ  
は學校へ行く道と野原へ行く道の四つか  
どである



第三 君とこへ行くのか  
學校へ行くのかあるの  
もし行くなら學校へ行く  
のふ家なまへ野原へ行  
かう野原にはちとちと  
かまてるな子なれやんほほさいて  
てそれはおもしろいよ家なまいいしに  
行くか  
第四 君はかぎりておらなはいしに  
君はかぎりておらなはいしに  
君はかぎりておらなはいしに  
君はかぎりておらなはいしに

第五 山登り  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ  
山登りはおもしろいよ山登りはおもしろいよ

IV-3-3

文部省著作  
**尋常小學讀本 七**  
發行所 日本書籍株式會社

IV-3-3

IV-3-2

第六勸學 第二十課  
雲雨などふることも學校  
はやすむべからず學校より  
かへりたるときは、つづの日  
に習ひたるどころをくり  
かへして、おそれぬやうにせよ  
第二十一課  
人は學問して、才智をみ  
がくべし才智なくば牛馬  
にねなつからむ  
第二十二課  
玉もみが、されば、光なし  
智をひらくことは學問  
の功にあらずばなり  
かたし  
第二十五課



第二十九課  
たごひ人は、よききもの  
をきたりて、ごも、また  
きたりと本もふべからず  
父母のきせたるものにて  
まんすくすべし  
上をみな身のほど  
をしれ

IV-3-2



IV-3-2

毛利元就ひやうきにて死な  
んとするまき、ごもりの  
かすほど、矢を、ごりよせて  
ひどたばとごなし、ごもりに  
折らせたれども折れず、つぎ  
にたゞ一本ごりて折らせた  
るに、すぐ折れたり、そのとき  
ごもりにむかひて、兄弟も  
この矢のごほりなりたがひ  
になかよくして、つにせら  
ばちからつよくてをにごご  
りなすうべしといひたり、

IV-3-2

『尋常小学修身書 卷二』東久世 通編 著  
修身書は、現在の道德の教科書にあたるものです。

『尋常小学読本・七』 文部省 著作 日本書籍 発行  
習字紙のような和紙ではなく、厚い西洋紙に印刷されています。こ  
のお話は、学校に行く大切さを教えています。

IV-3-3